

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原市中央区南橋本計画 新築工事	階数	7
建設地	相模原市中央区南橋本二丁目506番1 他	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域・準防火地域	平均居住人員	452 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2024年8月4日
敷地面積	4,309 m ²	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	1,706 m ²	確認日	2024年8月4日
延床面積	8,853 m ²	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

① 参照値: 100% (46 kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 77%

③ 上記+②以外の: 77%

④ 上記+: 77%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	『JR相模線南橋本駅から徒歩7分の第二種住居地域にRC造・7Fの共同住宅を計画した』	その他 0
Q1 室内環境	建築材料はJIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	BEI=0.8	LR3 敷地外環境
Q2 サービス性能	住宅性能表示制度 構造躯体劣化等級3を取得予定	光源は総合効率の高いものを選択、広告物照明を行っていない
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される